

中学校 技術・家庭科

第22回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

実施要項

本要項、ルール等はWebページより閲覧できます

<http://www.ajgika.ne.jp>

主催 全日本中学校技術・家庭科研究会

共催 文部科学省

(予定) 公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会

日本産業技術教育学会

日本家庭科教育学会 他

後援 厚生労働省 林野庁 特許庁 東京都 他

(予定)

開催の概要

- 1 開催期間 令和5年1月28日（土）～29日（日）
- 2 時間
 - ◆1月27日（金） 会場準備
 - ◆1月28日（土） 第1日目 午前9時から午後5時
(競技ごとに、開会式、競技会、閉会式)
 - ◆1月29日（日） 第2日目 午前9時から午後1時15分
(WEBにて結果発表)
(表彰状は郵送)
- 3 会場 中央区立総合スポーツセンター（28日・29日）
東京都中央区日本橋浜町2-59-1 TEL：03-3666-1501
- 4 参加対象 全国の中학생、技術・家庭科担当教諭、ものづくり教育に係る関係者
- 5 プログラム
 - (1)生徒作品コンクール
 - (2)木工チャレンジコンテスト
 - (3)「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール
 - (4)「あなたのためのおべんとう」コンクール
 - (5)創造アイデアロボットコンテスト
 - (6)プログラミングコンテスト
- 6 ご来賓
 - 文部科学省 教科調査官 渡邊 茂一 先生
 - 文部科学省 教科調査官 熊谷 有紀子 先生
- 7 閉会式 なし
 - (1) 表彰（予定）
 - ① 文部科学大臣賞 ②厚生労働大臣賞 ③林野庁長官賞 ④特許庁長官賞
 - ⑤（公財）つくば科学万博記念財団理事長賞 ⑥（一財）田部謝恩財団特別賞
 - ⑦ 全日本中学校技術・家庭科研究会会長賞 ⑧日本産業技術教育学会会長賞
 - ⑨ 日本家庭科教育学会会長賞 ⑩女子栄養大学学長賞
 - ⑪（公社）全国中学校産業教育教材振興協会会長賞 ⑫（一社）日本家政学会被服構成学部会
 - ⑬ 全国家庭科教育協会会長賞 ⑭（公社）全国工業高等学校長協会理事長賞
 - ⑮ 全国市町村教育委員会連合会会長賞 ⑯ 日本教育新聞社新聞社賞
 - ⑰ 全国農業高等学校長協会協会賞 ⑱ 日本木材青壮年団体連合会会長賞
 - ⑲ 東京都公立中学校PTA協議会会長賞

8 プログラムに関する実施概要

- (1) 生徒作品コンクール（運営担当：群馬県・新潟県・全産協・学会）
 - ア 全国各都道府県で作品を募集し、技術分野・家庭分野、授業内製作作品（Ⅰ部門）・自主製作部門（Ⅱ部門）を合わせて、各都道府県市計**6作品**までとする。
 - イ（公社）全国中学校産業教育教材振興協会と共催で作品を募集する。

- (2) 木工チャレンジコンテスト（運営担当：茨城県・栃木県・全産協・学会）
 - ア 木材加工の技術やデザイン、創造性を競う。

- (3) 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール（運営担当：長野県・山梨県・学会）
 - ア 布による製作品の加工技術やデザイン、創造性を競う。

- (4) 「あなたのためのおべんとう」コンクール（運営担当：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・学会）
 - ア 食べてもらう相手のことを考えたお弁当作りを通して、身近な人とのかかわりの大切さや「食」の重要性を知る。

- (5) 創造アイデアロボットコンテスト（運営担当：東京都・埼玉県・学会）
 - ア 全国统一規格のロボットコンテストを各都道府県で実施する。
 - イ 全国大会はZOOMを活用したオンライン方式で行い、技術や創造性を競う。

- (6) プログラミングコンテスト（運営担当：神奈川県・毎日パソコン事務局）
 - ア プログラミング（チャットボット）の制作を通して、その創造力・論理的な思考力を競います。

- (7) その他
「体験セミナー」や「ものづくり学習に関する教材・器具等の紹介」は、都合により開催しません。
(運営担当：千葉県)

9 大会参加費について （お振り込み方法や振込口座について、改訂いたしました）

- ・大会参加費については、各部門が指定した口座にお振り込みください。また、各部門の振込口座は、各部門の実施要項にてご確認ください。

※振込手数料は、大会参加者のご負担になります。